



学校だより

検見川

春臨時号

令和2年度第19号

千葉市立検見川小学校

TEL 043-273-8030

令和3年2月16日発行

「検見川の歴史」

千葉市立検見川小学校長

現在、子供たちは「6年生を送る会」に向けて準備を進めているところです。

さて、今年度「花見川地元を学ぶ会」（花見川公民館内）の方々が、検見川町や畑町の歴史について調べた「わたしたちのまち」という冊子を作られました。それを学校に配付してくださいました。この冊子は、検見川の歴史を勉強するにはとても素晴らしい貴重な資料です。その中で検見川という地名は、どれくらい前からあるのか・・・興味深く、参考になる資料がありました。

今から512年前の1509年、室町時代に書かれた^{さいおくけんそうちょう}柴屋軒宗長という人の紀行文「^{あずまじ}東路の^{つと}津登」に次のような文が載っています。

「はまのむらをたちて けみ川という所に ^{うらかぜ}浦風あまり ^{はげ}烈しかりしかは
一宿^{いっしゆく}して・・・」

注釈 「はまのむら（現中央区浜野町）を出発して、検見川という所にきた。海岸からの風があまり強いので、一泊して・・・」

＊柴屋軒宗長（1448～1532）は、室町時代の連歌師

この文から500年以上前の室町時代から「けみ川」という地名がすでに存在していたことがわかります。そんな昔からあった「検見川」に思いをはせます。

◇尾鷲神社奉納相撲◇

校歌の最初に出てくる「♪松風高き尾鷲山～♪」の尾鷲山。そこにある尾鷲神社では、昔奉納相撲があり、検見川の子供たちが相撲大会に参加していました。この写真は、昭和28年（1953年）10月、今から68年前のもので、昭和30年代まで行われたようです。今でも尾鷲神社には相撲の土俵があります。奉納相撲とは神仏に奉納するため、神社の境内で催す相撲のことです。

